

Reihoku High School

～逃げ遅れの「死」を減らす～

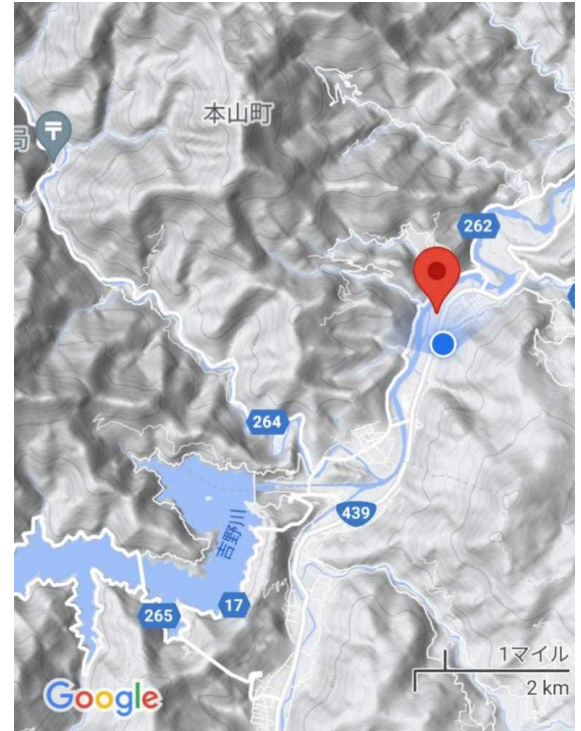
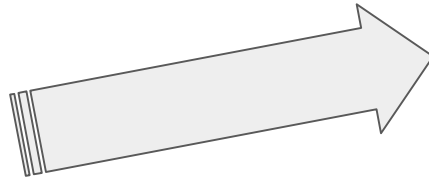
嶺北高校 2年

佐藤皓太郎
高橋春奈
岡林利穂奈

こんにちは！

嶺北高校防災グループです

嶺北高校はここに 있습니다



1. 防災観点から見た嶺北の特徴

・大雨が多い

四国山脈にあるため、夏から秋にかけて雨が多い

・周囲を山と川、湖に囲まれている

吉野川を挟んで地盤の異なる山々、地蔵寺川に汗見川

・四国一の早明浦ダム

ダム決壊やダムを超えることはないが、

長時間の放流で川が増水



2. 今までの活動

災害時にできるだけ快適な避難所生活を送るには...？

・ RGA（嶺北ガーディアンエンジェルス）の活躍

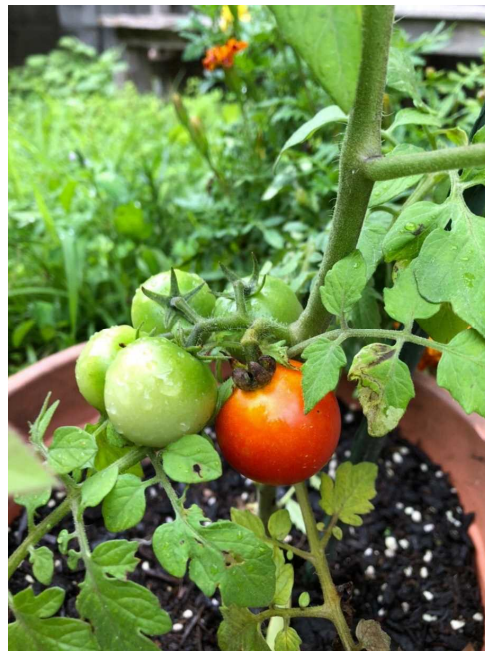


- ・ 災害後の避難所生活で一番苦しいのは冷たいごはん
- ・ 災害時に十分な食料確保
- ・ 災害時に安全な水の確保

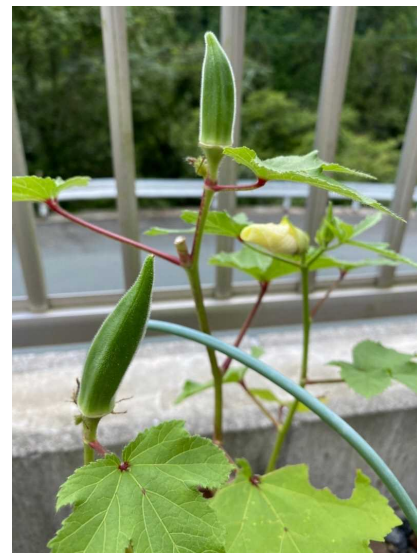
常備栽



ローリングストックング法



トマト・オクラ最強





- ▶ 嶺→嶺北（れいほく）
- ▶ ホコ→ほっこり（温かい）
- ▶ コット→リゾット



- ・冷めてもおいしい
- ・お手軽
- ・ジャガイモは
おなかにたまる

- ・災害時に安全な水を
を大量供給できる



- ・避難所運営に役立つ



Action

HUG

災害への意識を高める

避難所運営者の一人として



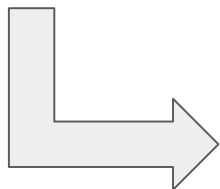
防災紙芝居

過去の災害をもとに作成

小学生や幼児に紹介

僕たちが見つけた課題

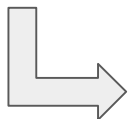
『避難所に行く前に命を落としてはいけない』



避難した後の生活が快適になろうと避難できないと意味がない
では、なぜ避難所に行く前に命を落とす人が多いのか...？

宮城県気仙沼向洋高校との意見交換

東日東日本大震災の時に死人が多かった



バイアスが働いた

正常性バイアス：災害を過小評価（ここまで来ないよ）

多数派同調バイアス：周りに合わせてしまう（自分だけ...恥ずかしい）

楽観主義バイアス：自分勝手に思い込む（自分は大丈夫、どうせまた大丈夫）

オオカミ少年効果：信じないで警戒しない（また避難勧告か、大雨警戒...）

防災についてのアンケート

嶺北高等学校 2年
岡林利穂奈 佐藤皓太郎 高橋春菜

私たちは、総合的な時間の嶺北探究という授業で「逃げ遅れの死を減らす」をテーマに防災・減災について探究をしています。そこで、地域の方の防災に対する意識などを知りたいと思いました。アンケート調査へのご協力をよろしくお願いいたします。

1. 回答者の年齢

ア:10代 イ:20代 ウ:30代 エ:40代
オ:50代 カ:60代 キ:70代 ク:80代以上

2. 世帯構成

(10歳未満 人)(10代 人)(20代 人)
(30代 人) (40代 人)(50代 人)
(60代 人) (70代 人)(80代以上 人)

3. 自宅の耐震工事 (している ・ していない)

※裏面もあります

4. 皆さんの避難意識についての調査

令和3年5月20日から避難勧告が廃止され、避難指示に一本化されました。この情報を踏まえ、私たちの想定の内容で質問します。ここ数日間大雨が続いています。現在、避難指示が出ています。あなたはどうしますか。理由も教えてください。

ア:避難指示が出る前(高齢者等避難発令)に避難しておく

イ:すぐに避難する

ウ:しばらく避難せず様子を見る エ:避難しない

また、私たちは防災グッズについての提案もしたいと考えています。次の質問にもご協力よろしくお願いいたします。

防災グッズで準備しているものがある場合は準備しているものに○をつけてください。(複数回答可)

水 ・ 懐中電灯 ・ ライター ・ ラジオ ・ 薬(薬手帳)

食品(米・缶詰など) ・ 笛(ホイッスル) ・ 簡易トイレ ・

モバイルバッテリー

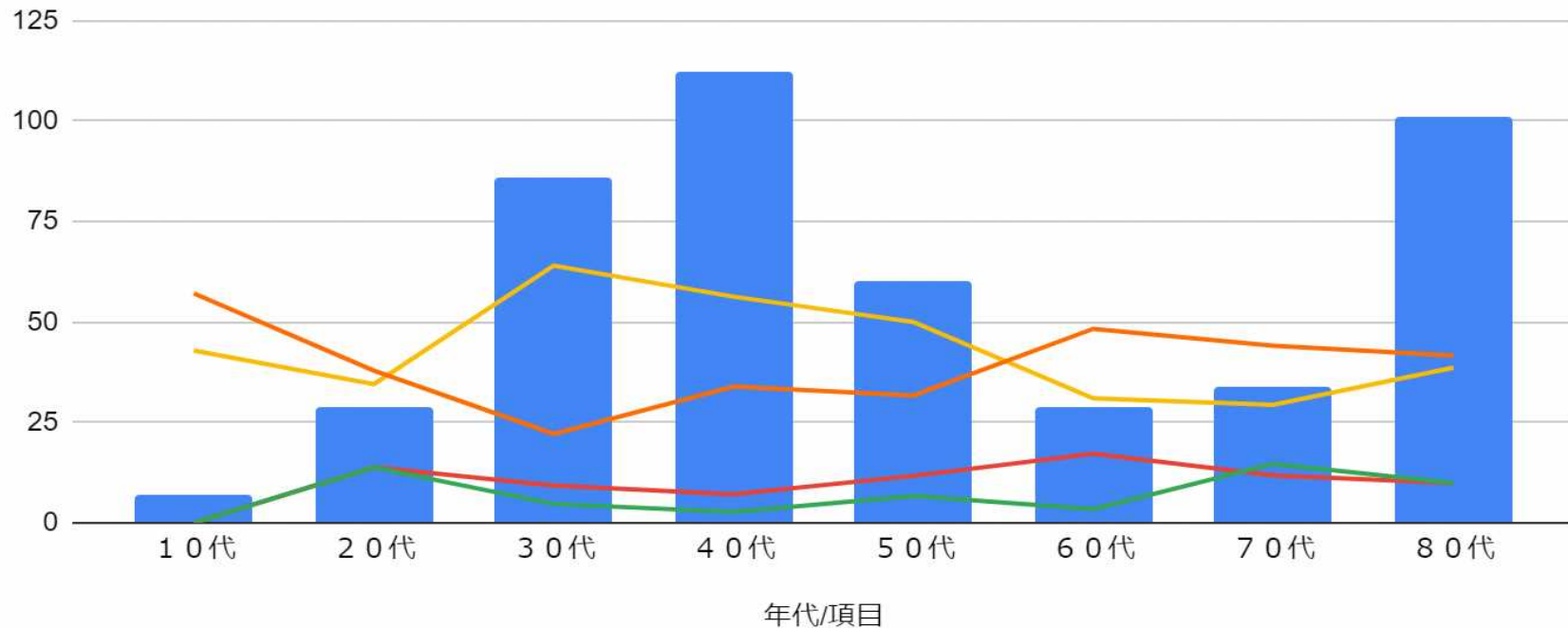
その他()

ご協力ありがとうございました

嶺北住民はどうか→アンケート調査

避難指示が出る前、すぐ避難する、しばらく様子見、避難しない、統計数

■ すぐ避難する ■ 避難指示が出る前 ■ しばらく様子見 ■ 避難しない ■ 統計数



これから分かること

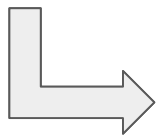
30～50代のしばらく様子を見てから避難する人の割合が多い

年代が高くなるにつれてすぐに（指示が出る前から）避難する人の割合が多い

全体的に様子を見てから避難する人の割合が多い

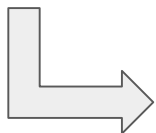
なぜこのような回答になったのか

1. 全体的に様子を見てから避難する人の割合が多い



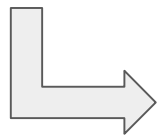
家が山の中にあり、避難所まで行くほうが逆に危ない（避難所が家の隣）
避難所が川沿いにあるなど、避難所のほうが危ない

2. 30～50代のしばらく様子を見てから避難する人の割合が多い



特に30代は子連れが多く、いざ避難する時に容易に動けない

3. 年代が高くなるにつれてすぐに（指示が出る前から）避難する人の割合が多い



- ・ 自分が高齢で他の人に迷惑をかけてしまうから（早めに避難）
- ・ 足腰が悪く、避難に時間がかかるから
- ・ 避難所のほうが安心する

自分たちには何ができるか

- ・ 役場に今回のアンケート結果を報告し、避難所の場所についてや、高齢者、子供連れへの避難所での配慮について検討しあう
- ・ ポスター、チラシを作成し住民に啓発する

(内容)

- ・ 避難することの大切さ
- ・ 避難するときに最低限必要なもの
- ・ 大雨時の避難指示レベルの変更について
- ・ 嶺北の山の地質について（土砂崩れなど）

今後の予定

- ① 役場との連携
- ② ポスター、チラシの作成（配布）
- ③ Instagramの開設
- ④ コロナの状況によるが、イベントの実施
保育園・幼稚園への防災教室（紙芝居）

最後に...

私たちの活動はこれからも続きます。

今回の津波サミットは中間発表です。

住民の意識の変化は、実際に災害が起きてから出ないとわからないかもしれません。

しかし、実際災害が起きたときに多くの住民が正しい判断をできるように、これから活動を続けていきます。

Instagram見てね！！